



那賀川の水生生物の調査をしたよ！ (4年)

9月20日(金)、4年生が那賀川の水生生物の調査を行いました。8時30分に学校を出発し、10時30分頃までの約2時間程、那賀川の十八女橋の河川敷に行きました。朝は少し秋を感じる涼しい風が吹いていましたが、時間が経つにつれて9月の半ばというのに真夏のような強い日差しとなってきました。

子どもたちは、十八女橋の河川敷に下りるのは初めてでした。台風の際には川岸いっばいに水が流れていますが、この日は、少し流れが速いところもありましたが、水かさも少なく、大きな石がたくさん見えまして。子どもたちは、大きな石の上を転ばないように慎重に歩いて、水の流れが穏やかな場所まで行きました。

まずはじめに担任の湯浅先生と子どもたちは、水温や気温、水質について調べました。次に、近くにある大きな石をめぐってみると、石の裏にはいろいろな水生生物がくっついていました。子どもたちは、くっついてある水生生物をピンセットでつかんでバットの中に集めていきました。子どもたちは、それぞれに水生生物の見つけ方が分かったようで、自分で石をめぐって水生生物を探していました。あちらこちらで、「これ何、先生来てください。」「こんな生き物がいるけど、これ何。」という声がたくさん聞こえてきました。

集まった水生生物は、「川の生き物を調べよう」という水生生物の水質判定の下敷き(環境省水・大気環境局・国土交通省水管理・国土保全局編・公益社団法人日本水環境学会発行)を使って、どんな生き物がいるのかを調べて、記録用紙に記録していきました。川の水の判定は、次のような分類で主に行いました。

I きれいな水にいる生き物 II ややきれいな水にいる生き物 III きたない水にいる生き物
IV とてもきたない水にいる生き物

などの分類を参考にしながら那賀川の水質について調べました。

今回の4年生の子どもたちが那賀川の水生生物調査を行ってみると、モクスガニの脱皮したものやトビケラ、カゲロウなどのきれいな水にいる生き物がたくさんいることが分かりました。

今回の那賀川の水生生物の調査を通して、子どもたち一人一人、自分たちの住んでいる加茂谷地域は、自然豊かな地域であるということを再認識することができました。

<水生生物の調査をしている様子を紹介します。>

